

町田市スポーツ推進計画
アクションプラン（素案）

【2013年12月】

目次

1 町田市スポーツ推進計画アクションプランについて	1
2 スポーツ推進施策の展開	2
3 スポーツ推進施策について	6
4 スポーツ推進事業の個票	7
戦略1 市民スポーツの普及・推進	7
戦略2 トップスポーツ支援	59
戦略3 スポーツ環境の整備	82

1 町田市スポーツ推進計画アクションプランについて

町田市では、2013年3月に定めた「町田市スポーツ推進条例」に基づき、2014年〇月に、スポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進するために、「町田市スポーツ推進計画」を策定しました。

前期計画にあたる「町田市スポーツ振興計画」では、「スポーツで人とまちが一つになる」を将来の姿として、市民一人ひとりがスポーツの果たす役割の重要性について理解を深めるとともに、スポーツを「する」、「みる」、そして「支える」というそれぞれの場面において様々な事業を行い、誰もが気軽にスポーツに親しむことができる環境を整え、豊かなスポーツ文化を育むことを目指した総花的に事業を盛り込んだ計画となっています。一方、後期計画にあたる「町田市スポーツ推進計画」では、社会動向や前期計画の進捗を踏まえた上で、関係各所との連携を推進するとともに、目標達成の実現性を重視した戦略的な取り組みとするために、スポーツ推進にかかる関係各所の取り組み内容をまとめた「町田市スポーツ推進計画アクションプラン」を別に策定することとしました。

本アクションプランは、「町田市スポーツ推進計画」で示した3つの戦略各々の施策における手段である「推進施策」の具体的な事業の2018年度までの取り組み内容を定めています。各々の事業については、実効性を担保するために、実施主体ならびに連携先を明らかにするとともに、目標、年度ごとの活動を定めています。

今後、スポーツ推進においては、本アクションプランに沿って事業を進め、目標の達成状況ならびに取り組み状況の進捗を確認し、事業改善に努めて参ります。

2 スポーツ推進施策の展開

町田市スポーツ推進計画で示した推進施策について、具体的な事業をスポーツ推進にかかる戦略体系に基づいて示します。

戦略1 市民スポーツの普及・推進

施策	推進施策	番号	事業名	
地域におけるスポーツの推進	子どものスポーツ推進	1-1	幼児期の運動遊び啓発事業	
		1-2	指定管理者による教室事業	
		1-3	乳幼児及び子育て家庭への身体作りの推進	
		1-4	「パパ(ママ)とプロレスごっこであそぼう」事業	
		1-5	幼児・親子向けプログラム(フィットネス、レクリエーション)	
		1-6	高校生による小中学生対象のスポーツ体験教室事業	
		1-7	学校教育へのスポーツ指導員の活用事業	
		1-8	地域スポーツとトップスポーツの好循環推進プロジェクト事業	
		1-9	食育推進事業	
	働き盛り・子育て世代のスポーツ推進	【重点施策】健康づくりと連携したスポーツの推進	1-10	健康づくり推進事業
			1-11	親子栄養講習会
			1-12	健康教育講座
			1-13	講師派遣事業
		既存施設の利用時間の延長	1-14	既存施設の利用時間の延長等
			1-15	夜間照明施設整備事業
		ファミリースポーツの推進	1-16	指定管理者による教室事業
			1-17	体育施設の親子利用促進
			1-18	地域一体型ファミリースポーツ推進事業
			1-19	スポーツ推進委員による運動機会創出交流事業
		働き盛りの人のためのプログラムの開発	1-20	民間プログラム連携事業
	1-21		高齢者スポーツ普及事業	
	高齢者のスポーツ推進	【重点施策】高齢者を対象としたスポーツの推進と指導員の育成	1-22	ロコモティブシンドローム対策事業
			1-23	スポーツ指導員育成事業
			1-24	まちだマスターズ GO! 推進事業
			1-25	[再掲]スポーツ推進委員による運動機会創出交流事業
			1-26	障がい者スポーツ大会
	障がいのある人のスポーツ推進施策	【重点施策】障がい者スポーツの推進	1-27	障がい児スポーツ教室
			1-28	障がい者スポーツ教室事業
			1-29	障がい者スポーツ指導員配置事業
			1-30	[再掲]スポーツ指導員育成事業

施策		(推進施策)	番号	事業名	
「市民スポーツ」の環境づくり	地域スポーツの場の整備	【重点施策】地域スポーツ推進のためのクラブハウス等の整備	2-1	地域学校開放推進事業	
			2-2	学校施設及び備品改善事業	
		【重点施策】ストリート系スポーツの場の整備	2-3	スケートパーク整備事業	
		公園・緑地等の芝生の整備	2-4		
		新たなスポーツ利用の場や機会の創出	2-5	調節池・調整池設置に合わせたスポーツ施設の整備	
			2-6	高架下スペース活用事業	
			2-7	学校跡地のスポーツ利用の推進	
			2-8	法政スポーツ教室事業	
			2-9	東京家政学院大学テニスコート開放事業	
			2-10	大学連携強化事業	
			2-11	民間スポーツ施設利用促進事業	
			2-12	近隣市スポーツ施設利用促進事業	
	地域スポーツの仕組みづくり		【重点施策】まちだ地域スポーツクラブモデル事業の推進	2-13	地域スポーツクラブ設立・運営推進事業
			【重点施策】「まちだニュースポーツ」の推進	2-14	ニュースポーツ推進事業
		2-15		キンボールスポーツ事業	
		2-16		マレットゴルフの普及及び施設整備	
		大学との協定の締結	2-17	スポーツに関わる人材育成連携事業	
		スポーツ指導員の充実	2-18	スポーツ指導員登録制度事業	
	2-19		[再掲]スポーツ指導員育成事業		
	既存スポーツ施設の有効活用	既存スポーツ施設の有効活用	2-20	施設予約案内システム運用適正化事業	
			2-21	利用種目の見直し	

戦略2 トップスポーツ支援

施策	(推進施策)	番号	事業名	
ホームタウンチームへの支援と協働	交流の活性化	3-1	イベントへの参加拡充	
		3-2	ホームタウンチーム支援体制の検討	
		3-3	ホームタウンチームへの職員派遣研修事業	
		3-4	町田市内小中学校と連携したホームタウンチーム応援広報事業	
		3-5	ホームタウンチーム競技普及啓発事業	
		3-6	[再掲]地域スポーツとトップスポーツの好循環推進プロジェクト事業	
	運営支援	スポーツイベントの集客増に向けた連携強化	3-7	町田市ホームタウンチーム協議会設置事業
		試合会場・練習会場の優先確保	3-8	ホームタウンチーム施設利用支援事業
		サポーターの拡大	3-9	[再掲]町田市ホームタウンチーム協議会設置事業
	広報・告知活動の充実	【重点施策】スポーツを通じたシティセールスの推進	3-10	[再掲]町田市ホームタウンチーム協議会設置事業

施策	(推進施策)	番号	事業名	
「トップスポーツ」の環境づくり	競技スポーツの場の整備	4-1	2019年ラグビーワールドカップ及び2020年東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地招致事業	
		4-2	競技スポーツの場の整備	
		4-3	バドミントン日本リーグ大会誘致事業	
	競技スポーツの連携強化	スポーツ団体との情報の共有化	4-4	体育協会等との情報共有の強化
		ボランティアスタッフが活躍できる仕組みづくり	4-5	スポーツボランティア活性化事業
		大学との協定の締結(再掲)	4-6	スポーツに関わる人材育成連携事業
	障がい者スポーツの活性化	障がい者の競技スポーツ大会への場の提供	4-7	障がい者の競技スポーツ大会誘致
			4-8	障がい者スポーツ体感事業
	顕彰制度・奨励制度等の活性化	【重点施策】トップアスリートとの交流の活性化	4-9	トップアスリートと市民のつながり創出事業
			4-10	各指定管理者と市内競技団体やホームタウンチームとの共催によるイベント実施
		顕彰制度、奨励制度の充実	4-11	表敬訪問事業
			4-12	全国大会等出場者祝金支給事業

戦略3 スポーツ環境の整備

	施策	(推進施策)	番号	事業名
スポーツのまちづくり	スポーツ・ツーリズムの推進	スポーツ・ツーリズムの連携促進	5-1	スポーツ・ツーリズム実施事業
	公園等におけるスポーツ施設の整備	【重点施策】野津田公園におけるスポーツ施設整備	5-2	
	広域スポーツのブランド化	市民マラソン等の活性化	5-3	武相マラソン大会
	公共スポーツ施設のユニバーサルデザイン化	ユニバーサルデザインの推進	5-4	新設体育施設のユニバーサルデザイン採用
			5-5	既存体育施設のバリアフリー改修
	スポーツ情報発信力の強化	【重点施策】総合的なスポーツ情報の発信力の強化	5-6	スポーツフォーラムの活性化事業
			5-7	生涯学習ポータルサイト構築事業
			5-8	生涯学習NAVI
			5-9	スポまち SNS 開設運営事業
			5-10	スポーツ情報発信・広報支援事業

3 スポーツ推進施策について

町田市スポーツ推進計画には、「戦略1 市民スポーツの普及・推進」に17、「戦略2 トップスポーツ支援」に14、「戦略3 スポーツ環境の整備」に6つのスポーツ推進施策（以下、「推進施策」）が設定してあります。

推進施策は、町田市スポーツ推進計画で定めた施策の目標を達成するための手段であり、個々の事業の目的となります。

本アクションプランには、推進施策ごとに具体的な事業内容となる「取り組み」を示しています。

【個票の見方】

推進施策	スポーツ指導員の充実			
事業名	スポーツ指導員登録制度事業			
取り組みの概要	<p><目的・狙い> スポーツ指導員の登録制度により、スポーツの指導をできる地域住民を、指導員を必要としている団体等に対して紹介することで、市内スポーツの活性化を図ります。</p> <p><取り組み内容> スポーツ指導員の登録制度を確立し、市内の団体、部活動、地域スポーツクラブ及び地域活動への指導員の紹介</p>			
実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	団体等の活動場所	
連携先	町田市体育協会	対象者	スポーツ指導員	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	未実施
	登録制度の実施		目標水準 (2018年度)	実施
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
	検討	実施		

推進施策：「町田市スポーツ推進計画」で定めた推進施策の名称を記載。

事業名：実施主体となる担当部署が取り組む事業名称を記載。

取り組みの概要：施策の課題に対応する当該事業の目的・狙い、事業の取り組み内容を記載。

実施主体：事業を主体的に実施する部署を記載。

連携先：事業実施にあたり連携して行う部署ならびに関係機関を記載。

事業目標：計画期間内に達成すべき状態や目標値を記載。

取り組みの場：事業を実施する主な活動場所を記載。

対象者：市が事業を実施に当たり直接働きかける人やモノを記載。

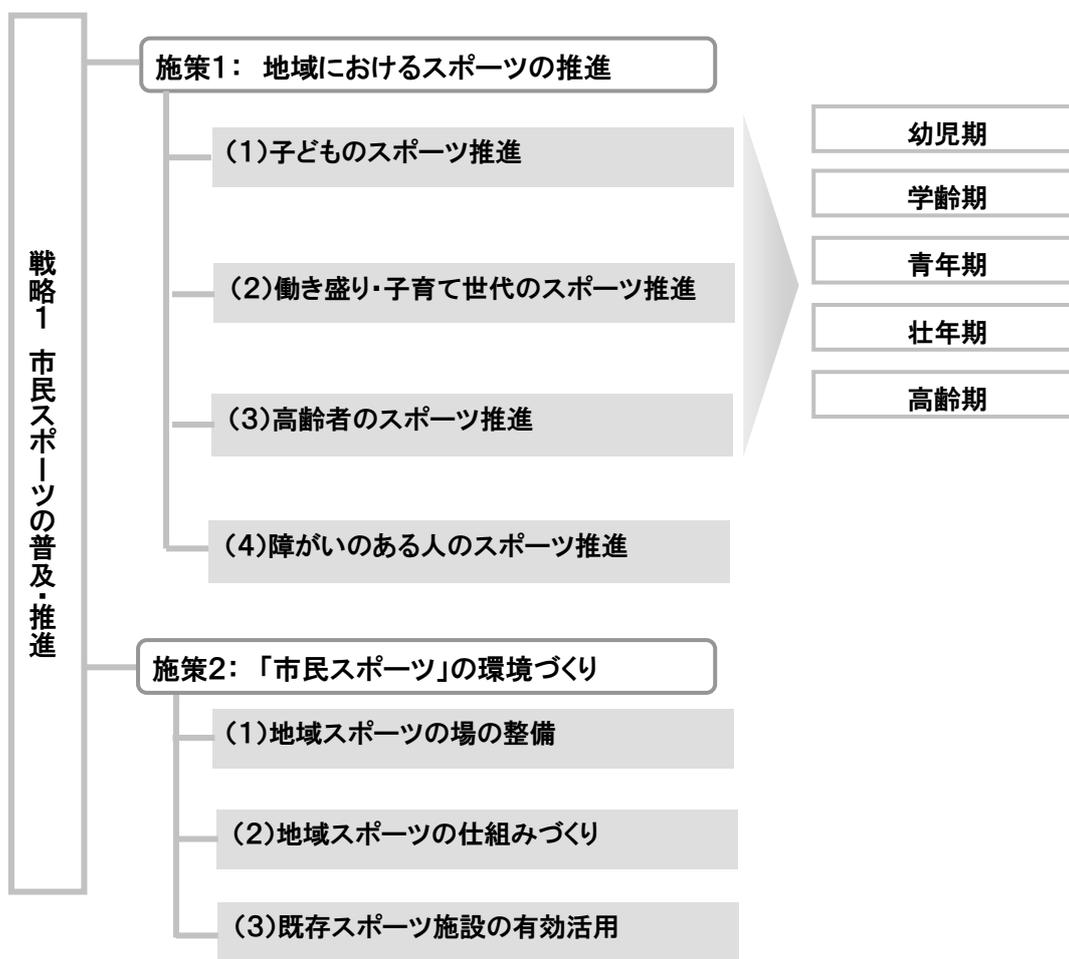
現状と目標水準：2013年度現在の事業の状況と最終年度での事業の達成状態または目標値。

実施計画：計画期間内の各年度の取り組み内容。

4 スポーツ推進事業の個票

戦略1 市民スポーツの普及・推進

「戦略1 市民スポーツの普及・推進」では、市民がスポーツや運動を行う機会を持ちスポーツ人口を拡大していくために、ライフステージ別に地域におけるスポーツの推進を図ります。特に、スポーツ実施率が低いとされる働き盛り・子育て世代、高齢者、そして障がいのある人などを対象に、きめ細かくアプローチをしていきます。また、市民スポーツの普及・推進に必要な地域スポーツの場の整備を進めます。具体的な事業としては、地域スポーツクラブの設立支援、地域学校開放推進事業の推進、ニュースポーツの推進等に取り組みます。



施策1： 地域におけるスポーツの推進

(1) 子どものスポーツ推進

No	1-1				
推進施策	幼児期における積極的な身体活動の推進				
事業名	幼児期の運動遊び啓発事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 平成24年に文部科学省が策定した「幼児期運動指針」では、「体を動かすことが幼稚園や保育所などでの一過性のものとならないように、家庭や地域にも情報を発信し、共に育てる姿勢をもてるようにすること。」とされています。本事業では、保護者に対する運動の重要性や取り組み方法の啓発について検討、実施することにより、家庭での運動量の増加を目指します。</p> <p><取り組み内容> 保護者に対する運動の重要性や取り組み方法の啓発について検討、実施</p>				
	実施主体	スポーツ振興課 子育て支援課		取り組みの場	幼児の家庭
	連携先		対象者	幼児の保護者	
事業目標	指標			現状 (2013年度)	—
	啓発活動の実施			目標水準 (2018年度)	実施
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討	実施			

No	1-2				
推進施策	幼児期における積極的な身体活動の推進				
事業名	指定管理者による教室事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 幼児が安全に楽しく運動に親しむことができる教室を開催し、幼児期の積極的な身体活動を促す。</p> <p><取り組み内容> 総合体育館：ちびっ子体操教室（4歳児対象）、わんぱく体操教室（5～6歳児対象） 室内プール：幼児スクール※自主事業 成瀬クリーンセンターテニスコート：キンダークラス（4～6歳児対象）※自主事業</p>				
	実施主体	指定管理者	取り組みの場	体育施設	
	連携先	指定管理者	対象者	未就学児	
	事業目標	指標		現状 (2013年度)	7
	未就学児向け教室数		目標水準 (2018年度)	7	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	事業実施	見直しながら実施			

No	1-3				
推進施策	幼児期における積極的な身体活動の推進				
事業名	乳幼児及び子育て家庭への身体作りの推進				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> A：子どもが身体を動かす楽しさを体験する。 保護者へは身体作りの大切さを普及していく。 B：保育士の身体づくり・体育遊びの力量をあげる。</p> <p><取り組み内容> A：子どもへのボランティア、大学生、ホームタウンチーム等との交流及び指導 B：保育士への研修</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	金森保育園他	
	連携先		対象者	金森保育園園児及び保護者 地域の子育て家庭の親子 町田市の保育士	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	無し	
	A：交流会などの回数 B：研修回数		目標水準 (2018年度)	A：年6回 B：年4回	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	計画作成	A：年2回 B：年2回	A：年2回 B：年2回	A：年4回 B：年4回	A：年6回 B：年4回

No	1-4				
推進施策	幼児期における積極的な身体活動の推進				
事業名	「パパ(ママ)とプロレスごっこであそぼう」事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い></p> <ul style="list-style-type: none"> ・父親(母親)との遊びを通して、運動をすることができる ・親子が、全力でふれあう機会となり、大きな思い出となる ・子どもが、痛い思いを知り、力の加減を学ぶ機会となる <p><取り組み内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・父子(母子)を対象としたプロレスごっこの教室 ・町田出身のプロレスラーを講師にすることもできる ・競技ではなく、遊びをとおして身体を動かす楽しさを知る 				
	実施主体	児童青少年課	取り組みの場	子どもセンター	
	連携先	プロレスラー	対象者	父子(母子) *子は幼児、小学校低学年	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	-	
	事業の実施		目標水準 (2018年度)	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	企画・実施				

No	1-5				
推進施策	幼児期における積極的な身体活動の推進				
事業名	幼児・親子向けプログラム(フィットネス、レクリエーション)				
取り組みの概要	<p><目的・狙い></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児が身近な場所で様々な身体活動を体験している <p><取り組み内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもセンターで幼児とその保護者を対象とした身体を動かすプログラム(フィットネス、レクリエーション)を実施する。 ・子どもセンターには、市内の数箇所あり、利便性も高く、多くの子どもや親子の利用がある。 ・定期的なプログラムとすることが可能である。 				
	実施主体	児童青少年課		取り組みの場	子どもセンター
	連携先	スポーツ振興課		対象者	幼児とその保護者
	事業目標	指標		現状 (2013年度)	—
事業の実施		目標水準 (2018年度)	実施		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	企画・実施				

No	1-6				
推進施策	子ども居場所づくりと連携した身体活動の推進				
事業名	高校生による小中学生対象のスポーツ体験教室事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学生が身近な場所でスポーツの体験できる ・小中学生が身近な場所でスポーツの指導を受けることができる ・スポーツを通じて、異年齢の交流ができる ・体育科の高校生が実際の指導を体験できる <p><取り組み内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中高生みなが集える場所としての子どもセンターを活用する ・野津田高校に都内唯一の体育科があり、体育科の高校生が小中学生にスポーツの指導する 				
	実施主体	児童青少年課		取り組みの場	子どもセンター まちとも
	連携先	体育科が設置されている 高校		対象者	小中学生
事業目標	指標			現状 (2013年度)	—
	事業の実施			目標水準 (2018年度)	実施
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2014年度	2015年度
	企画・実施				

No	1-7				
推進施策	ジュニアスポーツの推進				
事業名	学校教育へのスポーツ指導員の活用事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 学校と地域が連携した教育活動を行うため、スポーツ指導員を活用して、クラブ活動・部活動や授業の充実を図ります。</p> <p><取り組み内容> スポーツ指導員登録制度を利用し、小・中学校のクラブ活動・部活動における各種スポーツの指導者や体育の指導補助者として、スポーツ指導員を学校に派遣します。</p>				
	実施主体	指導課	取り組みの場	小・中学校	
	連携先	スポーツ振興課	対象者	児童・生徒	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	未実施	
	スポーツ指導員登録制度の活用		目標水準 (2018年度)	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
		実施			→

No	1-8				
推進施策	ジュニアスポーツの推進				
事業名	地域スポーツとトップスポーツの好循環推進プロジェクト事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツを普及・定着させ、スポーツを人々にとって身近なものとするためには、トップアスリートなどの優秀な技術や経験を地域スポーツに有効活用し、スポーツの裾野の拡大及び底上げを図ることが重要である。 ・そのため、トップアスリートを活用し、地域のジュニアアスリートを指導するとともに、学校に「小学校体育活動コーディネーター」を派遣することなどを通じて、地域スポーツとトップスポーツの好循環を推進する。 <p><取り組み内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ○トップアスリートによるジュニアアスリート支援等の実施 ○地域の課題解決への取り組みの実践再掲 ○小学校体育活動コーディネーターの派遣による支援 				
	実施主体	スポーツ振興課 NPO団体		取り組みの場	
	連携先	東京都 町田市教育委員会		対象者	
事業目標	指標			現状 (2013年度)	—
	・トップアスリートを派遣した学校数 /回数			目標水準 (2018年度)	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	企画・実施				

No	1-9				
推進施策	ジュニアスポーツの推進				
事業名	食育推進事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 子どもとその保護者に、スポーツを行うためだけでなく、基礎的な運動能力や体力の向上に必要な「食」の大切さについて啓発活動を行う。</p> <p><取り組み内容> 栄養学講義や調理実習、また、就農体験など、食に関するイベント・教室を開催したり、スポーツ団体の行う事業に対し、助成を行う。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課		取り組みの場	ホール、会議室、調理実習室、農場
	連携先	スポーツ団体、保健企画課、学務課		対象者	子どもとその保護者
事業目標	指標			現状 (2013年度)	—
	教室・イベントの開催回数			目標水準 (2018年度)	実施
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	企画	実施	実施	実施	実施

(2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

No	1-10				
推進施策	【重点施策】健康づくりと連携したスポーツの推進				
事業名	健康づくり推進事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 健康づくり推進員は地域における自発的な健康づくりを推進するために、町内会・自治会などから推薦をいただき、市長が委嘱しています。 その健康づくり推進員に対し、ウォーキング研修を実施することで、健康づくりと連携したスポーツを地域で普及します。</p> <p><取り組み内容> 健康づくり推進員研修において、正しい歩き方や靴の選び方などウォーキングに関する研修を実施します。</p>				
	実施主体	保健企画課	取り組みの場	健康福社会館 等	
	連携先	健康課	対象者	健康づくり推進員	
	事業目標	指標	現状 (2013年度)	年1回	
	実施回数	目標水準 (2018年度)	年1回		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	年1回実施				→

No	1-11				
推進施策	【重点施策】健康づくりと連携したスポーツの推進				
事業名	親子栄養講習会				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 近年、大人だけでなく子どもでも増えている生活習慣病を家族ぐるみで予防するために、運動と食事について学ぶ機会を与える。 運動の実技と調理体験を通し、健康づくりの大切さを理解し、家庭で実践するためのきっかけづくりの場を提供する。</p> <p><取り組み内容> 年1回の講習会実施</p>				
	実施主体	健康課	取り組みの場	健康福社会館	
	連携先	健康課	対象者	4歳から未就学児の子どもとその保護者	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	年1回	
	講習会実施回数		目標水準 (2018年度)	年1回	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	1回実施	1回実施	—	—	—

No	1-12				
推進施策	【重点施策】健康づくりと連携したスポーツの推進				
事業名	健康教育講座				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 市民が、健康に関する知識や技術を得ることにより、よりよい健康を目指し、健康活動の動機付けを得ることが出来るように情報提供及び支援を行う。</p> <p><取り組み内容> 年1回の運動講演会実施</p>				
	実施主体	健康課	取り組みの場	健康福社会館	
	連携先		対象者	住民(市内・外)	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	年1回	
	実施回数		目標水準 (2018年度)		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	1回実施	1回実施	1回実施	—	—

No	1-13				
推進施策	【重点施策】健康づくりと連携したスポーツの推進				
事業名	講師派遣事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> スポーツ団体に加え自治会や老人クラブ等、地域の様々な団体においてスポーツに関する取組みが行われています。本事業では講師を派遣することにより正しい知識の普及啓発を行うと同時に、新たなスポーツにチャレンジするきっかけをつくります。</p> <p><取り組み内容> 地域で健康づくりに取り組んでいる団体に対するスポーツ実技や食育、心の健康等に関する講師派遣の実施。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	各施設	
	連携先	町田市体育協会 地域の団体等	対象者	市民	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	未実施	
	制度実施		目標水準 (2018年度)	実施	
実施計画	検討	実施	2016年度	2017年度	2018年度
	検討	実施			→

No	1-14				
推進施策	既存施設の利用時間の延長				
事業名	既存施設の利用時間の延長等				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 利用時間の延長や利用単位の変更を行い、幅広い世代が利用しやすい環境を整備する。</p> <p><取り組み内容> (現在実施中)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室内プール：サマータイム実施(7/21 から 8/31 まで 8:30 開館) ※自主事業 ・成瀬クリーンセンターテニスコート：利用時間延長(5/1 から 8/31 までハードコート 19:00 まで)、早朝営業(7/1 から 9/30 まで 7:00 開館) ※自主事業 <p>(今後)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用時間の延長を検討する。 ・屋外スポーツ施設については、夜間照明設備整備に合わせて利用時間延長をする必要がある。 				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	市内スポーツ施設	
	連携先	公園緑地課 学校教育部 指定管理者 委託業者	対象者	施設利用者	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	2	
	利用時間を変更した施設数		目標水準 (2018年度)	増加	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	現在実施している取組の継続 利用時間延長の検討	条例改正(必要に応じて)	条例改正(必要に応じて) 施行	条例改正(必要に応じて) 施行	条例改正(必要に応じて) 施行

No	1-15				
推進施策	既存施設の利用時間の延長				
事業名	夜間照明施設整備事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い></p> <p>○日中に仕事をしている働き盛りの市民に、夜間にスポーツを「する」機会を提供する。</p> <p>○学校クラブ活動を活性化し、青少年がスポーツを「する」機会を増加させる。</p> <p><取り組み内容></p> <p>市内の既存スポーツ施設に、夜間照明設備を整備。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	市内各小中学校 屋外スポーツ施設全般	
	連携先	<ul style="list-style-type: none"> ・町田市立小中学校 ・町田市教育委員会 ・都市づくり部公園緑地課 ・財務部営繕課 	対象者	市民	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	7箇所	
	夜間照明設置箇所数		目標水準 (2018年度)	12箇所	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	2箇所設置 (計9箇所)	2箇所設置 (計11箇所)	1箇所設置 (計12箇所)	—	—

No	1-16				
推進施策	ファミリースポーツの推進				
事業名	指定管理者による教室事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 親子が安全に楽しく運動に親しむことができる教室を開催し、運動を通じた親子のコミュニケーションの機会とする。</p> <p><取り組み内容> 総合体育館：親子体操教室、親子ふれあい体操教室、よちよち親子体操教室、てくてく親子体操教室 サン町田旭体育館：親子体操教室</p>				
	実施主体	指定管理者	取り組みの場	総合体育館 サン町田旭体育館	
	連携先	指定管理者	対象者	未就学児と保護者	
	事業目標	指標		現状 (2013年度)	5
	親子を対象とした教室数		目標水準 (2018年度)	6	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	事業実施	見直しながら実施			→

No	1-17				
推進施策	ファミリースポーツの推進				
事業名	体育施設の親子利用促進				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 親子が安全に楽しく運動に親しむことができる施設を提供し、運動を通じた親子のコミュニケーションの機会とする。</p> <p><取り組み内容> 総合体育館：卓球の開放時におけるファミリー用卓球台の設置 室内プール：幼児用プールを利用する際に、保護者が付き添って利用…※ 学校温水プール：小学生が利用する際に、保護者が付き添って利用…※ ※安全のためのルールだが、保護者が子どもとともに運動し、また、子どもとの身体的コミュニケーションを高める機会の創出となっている。</p>				
	実施主体	指定管理者	取り組みの場	総合体育館 室内プール 学校温水プール	
	連携先	指定管理者	対象者	子どもと保護者	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	事業実施	
	体育施設の親子利用		目標水準 (2018年度)	現状の継続	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	事業実施				
	施設PR方法の検討				→

No	1-18				
推進施策	ファミリースポーツの推進				
事業名	地域一体型ファミリースポーツ推進事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 親子、祖父母と孫など、多世代でスポーツに取り組むことで、家族内及び家族間でのコミュニケーションを活性化し、地域のコミュニティや絆の強化を目指す。</p> <p><取り組み内容> ○地域スポーツクラブにおけるファミリー対象イベントの活性化（体験イベント⇒定期イベント、みたいな）＝広報支援、補助金等 ○エリア内の地域スポーツクラブと町内会自治会が共同で開催するファミリー対象イベント（ウォーキング等の簡単なものから、地域運動会まで）の促進、支援（事業補助金）</p>				
	実施主体	スポーツ振興課		取り組みの場	地域スポーツクラブを中心とする各地域
	連携先	<ul style="list-style-type: none"> ・地域スポーツクラブ ・町田市町内会自治会連合会 ・町田市スポーツ推進委員 		対象者	市民
事業目標	指標			現状 (2013年度)	—
	事業の実施			目標水準 (2018年度)	実施
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2014年度	2015年度
	企画・実施	→			

No	1-19				
推進施策	ファミリースポーツの推進				
事業名	スポーツ推進委員による運動機会創出交流事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 子どもからお年寄りまで楽しみながらスポーツに親しむことで、交流を深め、運動をはじめのきっかけづくりを提供するとともに市民スポーツの裾野の拡大を図る。</p> <p><取り組み内容> ドッチビー、ネオテニス、卓球、バドミントンなど、年齢を問わず誰でも楽しむことができる種目を複数行う。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課 町田市スポーツ推進委員	取り組みの場	総合体育館 サン町田旭体育館 市内こどもセンター等	
	連携先	高齢者福祉課 児童青少年課	対象者	市内在住、在学の小学生とその親または祖父母	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	年3回	
	事業の実施回数		目標水準 (2018年度)	年6回	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	年5回実施	年5回実施	年5回実施	年6回実施	年6回実施

No	1-20				
推進施策	働き盛りの人のためのプログラム開発				
事業名	民間プログラム連携事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 「スポーツを持てた機会」の調査で「持てた」割合が低下する30歳代~50歳代の仕事・子育てをしている層に対し、それぞれのライフスタイルを崩さずに手軽にスポーツに親しめるプログラムやスタイルを提供し、実施率の底上げを図る。</p> <p><取り組み内容> ○大学・民間スポーツクラブ等と提携し、働く人のライフスタイルに合わせたプログラムを開発。 ※民間と市営の施設で同一プログラムの開催（平日は市内、土日は市営とか） ※乳幼児と親が楽しめるプログラムの充実 ※相乗りポイント制による割引等の実施</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	公立スポーツ施設 (地域スポーツクラブ) 大学 民間スポーツクラブ	
	連携先	<ul style="list-style-type: none"> ・各スポーツ施設指定管理者 ・市内各大学 ・民間スポーツクラブ 	対象者	市民	
	事業目標	指標		現状 (2013年度)	2
市と提携した団体(企業・大学等)数		目標水準 (2018年度)	10		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	企画立案 連携調整	企画立案 連携調整	2	3	3

(3) 高齢者のスポーツ推進

No	1-21				
推進施策	【重点施策】 高齢者を対象としたスポーツの推進と指導員の育成				
事業名	高齢者スポーツ普及事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 高齢者が生きがいを持ち、介護予防的な側面から健康増進を図り、合わせて仲間をつくることで豊かな生活を営む一助とします。</p> <p><取り組み内容> 既存の団体で新たにゲートボール及びグラウンドゴルフの活動を始める者に対し、用具の貸与を行います。</p>				
	実施主体	高齢者福祉課	取り組みの場	ゲートボール及びグラウンドゴルフが実施可能な一定の広さを持ち、かつ地域住民がその目的で利用することのできる市内の広場	
	連携先	町田市ゲートボール協会	対象者	既存の団体で新たにゲートボール及びグラウンドゴルフの活動を始める者	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	6件	
	用具貸出件数		目標水準 (2018年度)	8件	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	6件	6件	7件	7件	8件

No	1-22				
推進施策	【重点施策】高齢者を対象としたスポーツの推進と指導員の育成				
事業名	ロコモティブシンドローム対策事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 少子高齢化が進む中、健康寿命を延ばし、高齢期の生活の質を向上するための取り組みが求められています。ロコモティブシンドロームの認知度を上げ、対策を広めることにより、より元気に高齢期を過ごしてもらうことを目指します。</p> <p><取り組み内容> ロコモティブシンドロームに関する知識や体操の啓発を行います。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	市内団体・施設	
	連携先	高齢者福祉課 市内団体・施設	対象者	市内高齢者	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	—	
	事業実施		目標水準 (2018年度)	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討	実施	→		

No	1-23				
推進施策	【重点施策】高齢者を対象としたスポーツの推進と指導員の育成				
事業名	スポーツ指導員育成事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い></p> <p>(全般) 市民スポーツの普及・推進のためには、さまざまな運動レベルの市民に応じた指導者の育成が必要である。</p> <p>(高齢者スポーツ) 超高齢化社会に突入し、高齢者の健康づくりや生きがい作りなどを目的としたスポーツへの要望が多くなっており、また、高齢者の社会的孤立の問題を解消するため、スポーツを通じた地域のつながりが求められている。</p> <p>(障がい者スポーツ) スポーツ祭東京 2013 での国体と全国障がい者スポーツ大会の一体的開催に象徴されるように、スポーツ基本法やスポーツ基本計画、東京都におけるスポーツ推進計画の下、障がい者スポーツの普及啓発・強化の方針が鮮明に打ち出されている。町田市においても、国や都と同調して取り組みを進めるとともに、スポーツの持つ力を障がい者福祉にも活用し、扶助費の抑制に寄与すべきである。</p> <p><取り組み内容></p> <p>官公庁や、各種団体によって開催されているスポーツ指導員育成のための研修会等に参加するための費用や、スポーツ指導に関連した資格取得のための費用を助成する。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	内部	
	連携先	高齢者福祉課 障がい福祉課	対象者	スポーツ推進委員・市民	
	事業目標	指標		現状 (2013 年度)	40.3%
	週一回以上スポーツを実施する市民の割合		目標水準 (2018 年度)	60.0%	
実施計画	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
	事業の検討・計画	事業の実施	事業の実施	事業の実施	事業の実施

No	1-24				
推進施策	【重点施策】高齢者を対象としたスポーツの推進と指導員の育成				
事業名	まちだマスターズGO! 推進事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 高齢者スポーツの盛んなまち・町田の象徴として、その頂点に位置する競技性の高いマスターズ大会を開催し、底辺の拡大を図り、高齢期におけるスポーツを推進する。</p> <p><取り組み内容> 2018年の開催を目標とし、年輪ピック等の視察を通じて、他事例の研究を行い、町田にふさわしい種目や大会規模、運営方法の検討を行う。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	内部	
	連携先		対象者		
事業目標	指標		現状 (2013年度)	40.3%	
	週一回以上スポーツを実施する市民の割合		目標水準 (2018年度)	60.0%	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	視察・検討	視察・検討	企画立案	プレ大会の開催	本大会開催

No	1-25					再掲
推進施策	【重点施策】高齢者を対象としたスポーツの推進と指導員の育成					
事業名	スポーツ推進委員による運動機会創出交流事業					
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 子どもからお年寄りまで楽しみながらスポーツに親しむことで、交流を深め、運動をはじめめるきっかけづくりを提供するとともに市民スポーツの裾野の拡大を図る。</p> <p><取り組み内容> ドッチビー、ネオテニス、卓球、バドミントンなど、年齢を問わず誰でも楽しむことができる種目を複数行う。</p>					
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	総合体育館 サン町田旭体育館 市内こどもセンター等		
	連携先	障がい福祉課	対象者	市内在住、在学の小学生とその親または祖父母		
事業目標	指標		現状 (2013年度)	40.3%		
	週一回以上スポーツを実施する市民の割合		目標水準 (2018年度)	60.0%		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	視察・検討	視察・検討	企画立案	プレ大会の開催	本大会開催	

(4) 障がいのある人のスポーツ推進

No	1-26				
推進施策	【重点施策】障がい者スポーツの推進				
事業名	障がい者スポーツ大会				
取り組みの概要	<p><目的・狙い></p> <ul style="list-style-type: none"> 市内の障がいのある方同士、障がい福祉団体同士が、スポーツを通して汗を流し、互いに交流・親睦を図る機会を提供することを目的とします。 障がい者を『支える人』として、障がい福祉やスポーツに関係する方々からこれまであまり縁のなかった方々・機関まで様々な協力者と関わり合うことで、障がいのある方への理解、共生社会の理念の普及を図ります。また、ボランティアの方等が活躍できる環境づくりに繋がります。 <p><取り組み内容></p> <p>毎年1回、大会を開催し、様々な機関と連携を図ります。</p>				
	実施主体	障がい福祉課 スポーツ振興課	取り組みの場	市立総合体育館内	
	連携先	体育館指定管理者 スポーツ推進委員 社会福祉協議会 等	対象者	市内在住の障がいのある方、市内障がい福祉施設の利用者	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	年1回	
	開催回数(現状維持)		目標水準 (2018年度)	年1回	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	年1回開催	年1回開催	年1回開催	年1回開催	年1回開催

No	1-27				
推進施策	【重点施策】障がい者スポーツの推進				
事業名	障がい児スポーツ教室				
取り組みの概要	<p><目的・狙い></p> <p>障がいのある方がスポーツに親しむ機会を提供します。通常のスポーツクラブ等には、なかなか障がいのある方への知識を持った者がおらず、参加を考えたときに躊躇してしまう方が多いのが現状です。</p> <p>当教室では、障がいへの理解がある方を指導員をとし、障がいのある方1人ひとりが楽しく参加でき、それぞれに合った方法で身体を動かし、力を伸ばすことができるような活動を目的とします。</p> <p>また、定期的に教室に参加できる教室があるということで、障がいのある方の居場所づくり・社会参加の促進にもつなげる狙いがあります。</p> <p><取り組み内容></p> <p>年間30回以上を目標に、教室を開催する。</p>				
	実施主体	障がい福祉課		取り組みの場	サン町田旭体育館 すみれ会館温水プール
	連携先	体育館指定管理者 すみれ教室 等		対象者	主に障がいのある18歳以下の方
	事業目標	指標		現状 (2013年度)	30回以上
	教室開催回数(現状維持)		目標水準 (2018年度)	30回以上	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	30回以上	30回以上	30回以上	30回以上	30回以上

No	1-28				
推進施策	【重点施策】障がい者スポーツの推進				
事業名	障がい者スポーツ教室事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 現在、障がい福祉課所管の障がい児スポーツ教室が開催され、多くの参加者がスポーツに親しんでおりますが、レクリエーションとしての要素が強く、スポーツ技術の向上等を目的としたものではありません。本事業では、障がいのある方々のスポーツに対するニーズを把握しながら、より専門性の高い教室を実施することを目的としています。</p> <p><取り組み内容> 障がいのある方のスポーツに対するニーズを把握し、新たな教室を実施します。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	市内スポーツ施設	
	連携先	障がい福祉課	対象者	競技性のあるスポーツに取り組みたい障がいのある方	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	—	
	新たな教室の実施		目標水準 (2018年度)	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討	→		実施	→

No	1-29				
推進施策	【重点施策】障がい者スポーツの推進				
事業名	障害者スポーツ指導員配置事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 障がい者スポーツを推進するためには、障がいのある方のための教室の開催のみならず、一般参加者と共に教室や開放に参加しやすい仕組みづくりが必要です。本事業では各スポーツ施設に障害者スポーツ指導員を配置することにより、障がいのある方にとっても利用しやすい環境づくりを進めます。</p> <p><取り組み内容> 市内スポーツ施設に障害者スポーツ指導員を配置します。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	市内スポーツ施設	
	連携先	障がい福祉課	対象者	障がいのある方	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	—	
	各スポーツ施設への障害者スポーツ指導員の配置		目標水準 (2018年度)	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討 →		実施 →		

No	1-30					再掲
推進施策	【重点施策】障がい者スポーツの推進					
事業名	スポーツ指導員育成事業					
取り組みの概要	<p><目的・狙い></p> <p>(全般) 市民スポーツの普及・推進のためには、さまざまな運動レベルの市民に応じた指導者の育成が必要である。</p> <p>(高齢者スポーツ) 超高齢化社会に突入し、高齢者の健康づくりや生きがい作りなどを目的としたスポーツへの要望が多くなっており、また、高齢者の社会的孤立の問題を解消するため、スポーツを通じた地域のつながりが求められている。</p> <p>(障がい者スポーツ) スポーツ祭東京 2013 での国体と全国障がい者スポーツ大会の一体的開催に象徴されるように、スポーツ基本法やスポーツ基本計画、東京都におけるスポーツ推進計画の下、障がい者スポーツの普及啓発・強化の方針が鮮明に打ち出されている。町田市においても、国や都と同調して取り組みを進めるとともに、スポーツの持つ力を障がい者福祉にも活用し、扶助費の抑制に寄与すべきである。</p> <p><取り組み内容></p> <p>官公庁や、各種団体によって開催されているスポーツ指導員育成のための研修会等に参加するための費用や、スポーツ指導に関連した資格取得のための費用を助成する。</p>					
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	内部		
	連携先	高齢者福祉課 障がい福祉課	対象者	スポーツ推進委員・市民		
事業目標	指標		現状 (2013年度)	40.3%		
	週一回以上スポーツを実施する市民の割合		目標水準 (2018年度)	60.0%		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	事業の検討・計画	事業の実施	事業の実施	事業の実施	事業の実施	

施策2： 「市民スポーツ」の環境づくり

(1) 地域スポーツの場の整備

No	2-1				
推進施策	【重点施策】地域スポーツ推進のためのクラブハウス等の整備				
事業名	地域学校開放推進事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 現在スポーツを「していない人」「したいのにできていない人」のニーズを掘り起こすため、より身近な地域でスポーツを始める、もしくははすることができる快適な環境を整備し、スポーツ実施率を高める。</p> <p><取り組み内容> 既存の学校施設の利便性・快適性を高め、地域のスポーツ活動拠点として位置づけるために、市内20ヶ所の学校にシャワー・トイレ・更衣室・ミーティングルーム等を備えたクラブハウスを整備。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課		取り組みの場	市内各小中学校
	連携先	学校開放運営委員会 ・PTA（保護者と教職員の会） ・既存の学校開放利用団体 ・町田市立小中学校 ・町田市教育委員会 ・財務部営繕課		対象者	各中学校区内に在住、在勤、在学している方々
事業目標	指標			現状 (2013年度)	2校
	クラブハウス整備校数			目標水準 (2018年度)	20校
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	5校	6校	7校		

No	2-2				
推進施策	【重点施策】地域スポーツ推進のためのクラブハウス等の整備				
事業名	学校施設及び備品改善事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 学校施設を地域のスポーツ活動拠点と位置づけるために、学校開放利用者がスポーツを快適に「する」環境を改善し、新たな利用を発掘することでスポーツ実施率の底上げを図る。</p> <p><取り組み内容> ○学校施設の修繕や、学校開放に関連する備品の購入をスポーツ振興課で実施できる事務体系を構築する。 ○クラブハウス整備校を中心に施設修繕や備品購入を実施し、地域のスポーツ活動拠点としてのPR も一体的に図る。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課		取り組みの場	市内各小中学校
	連携先	<ul style="list-style-type: none"> ・学校開放運営委員会 ・PTA(保護者と教職員の会) ・既存の学校開放利用団体 ・町田市立小中学校 ・町田市教育委員会 ・財務部営繕課 		対象者	学校開放利用団体
事業目標	指標		現状 (2013年度)	11,000人	
	学校施設開放利用登録者数		目標水準 (2018年度)	20,000人	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	12,000人	12,000人	14,000人	16,000人	20,000人

No	2-3				
推進施策	【重点施策】ストリート系スポーツの場の整備				
事業名	スケートパーク整備事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> スケートボード、インラインスケート、BMX、ランニングバイク等のストリート系スポーツは、若者を中心とした多くの愛好家がありますが、気軽にストリート系スポーツを楽しめる場はほとんどありません。スケートパークを整備することによりストリート系スポーツを推進するとともに、安全に楽しむためのルールの啓発やマナーの向上を図ります。</p> <p><取り組み内容> スケートパークの整備</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	市内	
	連携先	公園緑地課	対象者	ストリート系スポーツの愛好家	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	—	
	スケートパークの整備		目標水準 (2018年度)	1施設	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	候補地の選定 ・整備				→

No	2-4				
推進施策	公園・緑地等の芝生の整備				
事業名					
取り組みの概要	調整中につき後日掲載				
	実施主体			取り組みの場	
	連携先			対象者	
	事業目標	指標		現状 (2013年度)	
			目標水準 (2018年度)		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度

No	2-5				
推進施策	新たなスポーツ利用の場や機会の創出				
事業名	調節池・調整池設置に合わせたスポーツ施設の整備				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 既存のスポーツ施設は多くの市民に利用され、新たな施設のニーズも高くなっていますが、新たな用地の確保は難しい状況です。本事業は、調節池・調整池をスポーツ施設として整備し、市民のスポーツ活動の場を広げることを目的とします。</p> <p><取り組み内容> 調節池・調整池のスポーツ利用について検討し、整備します。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課		取り組みの場	調節池
	連携先			対象者	市民
事業目標	指標			現状 (2013年度)	0箇所
	調節池整備に伴うスポーツ施設設置数			目標水準 (2018年度)	1箇所
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討・調整 利用方法の検討	検討・調整	整備	→	

No	2-6				
推進施策	新たなスポーツ利用の場や機会の創出				
事業名	高架下スペース活用事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 新たなスポーツ施設用地の確保が難しい中、高架下は貴重なスペースです。高架下スペースをスポーツ施設として整備することにより、市民がスポーツに触れる機会を創出します。</p> <p><取り組み内容> 高架下スペースのスポーツ施設利用について検討し、整備します。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	高架下スペース	
	連携先	高架下管理者	対象者	高架下スペース利用者	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	0箇所	
	高架下スペースへのスポーツ施設設置数		目標水準 (2018年度)	1箇所	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討	検討	整備	利用開始	→

No	2-7				
推進施策	新たなスポーツ利用の場や機会の創出				
事業名	学校跡地のスポーツ利用の推進				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 新たなスポーツ施設用地の確保が難しい中、学校跡地は貴重なスペースです。学校跡地の一部をスポーツ施設として整備することにより、市民がスポーツに触れる機会を創出します。</p> <p><取り組み内容> ○学校跡地のスポーツ利用に向けた検討・整備</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	学校跡地	
	連携先	町内会自治会連合会 企画政策課	対象者	市民	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	0箇所	
	学校跡地へのスポーツ施設設置数		目標水準 (2018年度)	1箇所	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討・調整	検討・調整	整備	整備	利用開始

No	2-8				
推進施策	新たなスポーツ利用の場や機会の創出				
事業名	法政スポーツ教室事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い></p> <p>大学のスポーツ施設を活用し、大学のスポーツ指導資格者（教職員、学生等）によるスポーツ教室を開催することにより、市民に質の高いスポーツを「経験する」機会を提供します。</p> <p><取り組み内容></p> <p>○大学と市との協定にもとづき、共催で、在住・在勤・在学者および大学近隣住民を対象に、初心者から上級者まで参加できるスポーツ教室を開催します。</p> <p>○参加者が減少または参加者が伸び悩んでいる教室内容を精査し、ニーズに合った教室を開催すると共に教室情報を広く市民に普及できるよう、大学と協力して方策を検討・実施していきます。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	大学のスポーツ施設	
	連携先	法政大学	対象者	在住・在勤・在学者および大学近隣住民	
	事業目標	指標		現状 (2013年度)	4教室 215人
教室数 延べ参加者数		目標水準 (2018年度)	5教室 250人		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	4教室 220人	4教室 230人	4教室 230人	5教室 240人	5教室 250人

No	2-9				
推進施策	新たなスポーツ利用の場や機会の創出				
事業名	東京家政学院大学テニスコート開放事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 大学のスポーツ施設を活用し、市民がスポーツを「する」場所を提供します。</p> <p><取り組み内容> 大学と市との協定にもとづき、大学のテニスコートを大学が使用しない日・時間に限り、大学周辺の相原町・小山町・小山ヶ丘在住の地域住民を中心に、無料で開放します。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	大学のスポーツ施設	
	連携先	東京家政学院大学	対象者	主に相原町・小山町・小山ヶ丘在住の地域住民	
	事業目標	指標		現状 (2013年度)	20団体
	利用登録団体数		目標水準 (2018年度)	30団体	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	20団体	20団体	25団体	25団体	30団体

No	2-10				
推進施策	新たなスポーツ利用の場や機会の創出				
事業名	大学連携強化事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 現在、こどもマラソン大会や地域スポーツクラブでは法政大学、大学施設開放では東京家政学院大学との連携により、事業を展開しているが、市内の他の大学とも関係を強化し、官学連携の推進を図る。</p> <p><取り組み内容> 現在まで実績のある事業を踏まえ、今まで関係の薄かった大学との連携を強化し、それぞれの特徴を生かした内容の連携事業を実施する。 例えば、ハンマー投げは陸上競技場を含め市のスポーツ施設で練習できるところはないが、ハンマー投げを行える近隣大学等と協定を結び、その施設を一般開放できる制度の構築を検討する。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場		
	連携先	市内各大学	対象者	市民	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	2	
	大学連携事業の実施		目標水準 (2018年度)		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討	協定締結・実施	協定締結・実施	協定締結・実施	協定締結・実施

No	2-11				
推進施策	新たなスポーツ利用の場や機会の創出				
事業名	民間スポーツ施設利用促進事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 新たなスポーツ利用の場や機会を早期に創出するためには、新規に整備するのではなく、民間施設を含めた既存施設の有効利用を促進する必要がある。</p> <p><取り組み内容> 近隣の民間スポーツ施設に協力を呼びかけ、施設使用料が割引される優待利用券の発行等、市民の利用を促す補助制度を検討・実施する。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場		
	連携先	近隣民間スポーツ施設	対象者	市民	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	-	
	協力民間スポーツ施設数		目標水準 (2018年度)	20	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討	試行	5	10	20

No	2-12				
推進施策	新たなスポーツ利用の場や機会の創出				
事業名	近隣市スポーツ施設利用促進事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 新たなスポーツ利用の場や機会を早期に創出するためには、新規に整備するのではなく、近隣市施設を含めた、既存施設の有効利用を促進する必要がある。</p> <p><取り組み内容> 近隣市施設の相互利用制度を構築する。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	近隣市	
	連携先	近隣市	対象者	市民	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	-	
	協定締結市		目標水準 (2018年度)	3	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討	試行	1	2	3

(2) 地域スポーツの仕組みづくり

No	2-13				
推進施策	【重点施策】まちだ地域スポーツクラブモデル事業の推進				
事業名	地域スポーツクラブ設立・運営推進事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 身近な地域にある既存の学校施設を有効活用することで、国が掲げる「1中学校区あたりに1箇所の地域スポーツクラブ設立」を目指し、市民にとって「いつでも、どこでも、誰でも、いつまでも」気軽にスポーツに親しめる環境を整備する。</p> <p><取り組み内容> ○市内各小中学校（クラブハウス整備校を中心）を拠点に、学校開放制度を運営している学校開放運営委員会、及び制度を利用している各利用団体を中心に地域スポーツクラブを設立。 ○クラブの設立及び運営に向けて、クラブハウス管理運営委託及び地域スポーツクラブ事業運営補助を実施。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課		取り組みの場	市内各小中学校
	連携先	<ul style="list-style-type: none"> ・学校開放運営委員会 ・既存の学校開放利用団体 ・町田市町内会自治会連合会 ・町田市スポーツ推進委員 		対象者	各中学校区に在住、在勤、在学している方々
事業目標	指標			現状 (2013年度)	4クラブ
	市内の地域スポーツクラブ数			目標水準 (2018年度)	20クラブ
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	1クラブ (計5)	2クラブ (計7)	3クラブ (計10)	4クラブ (計14)	6クラブ (計20)

No	2-14				
推進施策	【重点施策】「まちだニュースポーツ」の推進				
事業名	まちだニュースポーツ推進事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い></p> <p>近年、気軽に楽しむことができるニュースポーツが数多く開発され、市内でも様々な場面で実施されています。</p> <p>本事業では、ニュースポーツについて研究し、市として種目を選定し推進することにより、市内でニュースポーツを広め、スポーツ実施率の上昇を図ります。</p> <p><取り組み内容></p> <p>○ニュースポーツの研究及び市内におけるニュースポーツ活動の状況把握</p> <p>○推進する種目の選定及び事業の実施</p>				
	実施主体	スポーツ振興課		取り組みの場	市内スポーツ施設
	連携先			対象者	市民
事業目標	指標			現状 (2013年度)	—
	事業の実施			目標水準 (2018年度)	実施
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	企画・検討	→		事業実施	→

No	2-15				
推進施策	【重点施策】【まちだニュースポーツ】の推進				
事業名	キンボールスポーツ事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 直径 122cm、重さ約 1kg のビッグなボールを使い、「共に遊べる」、「誰もが主役になれる」、「年齢、経験、体力等に応じてゲームを楽しめる」でお互いのチームワーク・協調性が身につけられる。</p> <p><取り組み内容> 年間通じ、ひなた村で教室を前期、後期それぞれ 8 回、また教室のフォローアップとして 10 回、1 時間ずつ、水曜日に実施している。 さらに、ひなた村のプログラムサービス事業として、地域の学校のPTAや子ども会からの要請で、学校の体育館を利用し、年間約 10 校にてキンボール事業を実施している。</p>				
	実施主体	ひなた村	取り組みの場	ひなた村又は小学校	
	連携先	各小学校	対象者	小・中・高校生及び大人	
事業目標	指標		現状 (2013 年度)	10 校	
	プログラムサービス事業実施校		目標水準 (2018 年度)	15 校	
実施計画	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
	11 校	12 校	13 校	14 校	15 校

No	2-16				
推進施策	【重点施策】「まちだニュースポーツ」の推進				
事業名	マレットゴルフの普及及び施設整備				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 利用者の広がりを見せる「マレットゴルフ」は、現在暫定利用でリサイクルセンター内用地の一部を利用し活動を続けている。しかし、当該用地は整備工事を予定しているため、正規のマレットゴルフ場の整備が求められている。</p> <p><取り組み内容> 既存公園等にマレットゴルフ場を整備する。</p>				
	実施主体	町田市マレットゴルフ協会(町田市体育協会加盟団体) スポーツ振興課	取り組みの場	既存公園等	
	連携先	都市づくり部公園緑地課	対象者	市民	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・200人 ・1施設 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・マレットゴルフ利用者数 ・マレットゴルフ施設数 		目標水準 (2018年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・700人 ・2施設 	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	<ul style="list-style-type: none"> ・300人 ・1施設 	<ul style="list-style-type: none"> ・400人 ・1施設 	<ul style="list-style-type: none"> ・500人 ・1施設 	<ul style="list-style-type: none"> ・600人 ・1施設 	<ul style="list-style-type: none"> ・700人 ・2施設

No	2-17				
推進施策	大学との協定の締結				
事業名	スポーツに関わる人材育成連携事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い></p> <p>○スポーツ行政に対する大学生の知見を広めることで、次代のスポーツ行政を担う人材を育成する。</p> <p>○市の主催イベント等に大学生を積極的に活用することで、町田市全体としての活気を創出する。</p> <p><取り組み内容></p> <p>大学のゼミや講義と連携した、下記各種取り組み。</p> <p>○地域スポーツクラブ等で開催されるスポーツ教室において、指導を通じた地域貢献</p> <p>○市内外スポーツイベントへボランティアとして積極的に参加できるシステムの構築</p> <p>○市の各種媒体から発信する情報について、学生を活用して積極的に収集</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	市内各大学 市内外各種スポーツイベント 地域スポーツクラブ	
	連携先	<ul style="list-style-type: none"> ・市内各大学 ・地域スポーツクラブ ・政策経営部広報課 ・経済観光部産業観光課 	対象者	大学生	
	事業目標	指標		現状 (2013年度)	0
	市の事業と連携する大学のゼミ数		目標水準 (2018年度)	3	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	制度設計・調整	制度設計・調整	1	2	3

No	2-18				
推進施策	スポーツ指導員の充実				
事業名	スポーツ指導員登録制度事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> スポーツ指導員の登録制度により、スポーツの指導をできる地域住民を、指導員を必要としている団体等に対して紹介することで、市内スポーツの活性化を図ります。</p> <p><取り組み内容> スポーツ指導員の登録制度を確立し、市内の団体、部活動等の学校における活動、地域スポーツクラブ及び地域活動への指導員の紹介を行います。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	団体等の活動場所	
	連携先	町田市体育協会	対象者	スポーツ指導員	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	未実施	
	登録制度の実施		目標水準 (2018年度)	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討	実施			→

No	2-19					再掲
推進施策	スポーツ指導員の充実					
事業名	スポーツ指導員育成事業					
取り組みの概要	<p><目的・狙い></p> <p>(全般) 市民スポーツの普及・推進のためには、さまざまな運動レベルの市民に応じた指導者の育成が必要である。</p> <p>(高齢者スポーツ) 超高齢化社会に突入し、高齢者の健康づくりや生きがい作りなどを目的としたスポーツへの要望が多くなっており、また、高齢者の社会的孤立の問題を解消するため、スポーツを通じた地域のつながりが求められている。</p> <p>(障がい者スポーツ) スポーツ祭東京 2013 での国体と全国障がい者スポーツ大会の一体的開催に象徴されるように、スポーツ基本法やスポーツ基本計画、東京都におけるスポーツ推進計画の下、障がい者スポーツの普及啓発・強化の方針が鮮明に打ち出されている。町田市においても、国や都と同調して取り組みを進めるとともに、スポーツの持つ力を障がい者福祉にも活用し、扶助費の抑制に寄与すべきである。</p> <p><取り組み内容></p> <p>官公庁や、各種団体によって開催されているスポーツ指導員育成のための研修会等に参加するための費用や、スポーツ指導に関連した資格取得のための費用を助成する。</p>					
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	内部		
	連携先	高齢者福祉課 障がい福祉課	対象者	スポーツ推進委員・市民		
事業目標	指標		現状 (2013年度)	40.3%		
	週一回以上スポーツを実施する市民の割合		目標水準 (2018年度)	60.0%		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	事業の検討・計画	事業の実施	事業の実施	事業の実施	事業の実施	

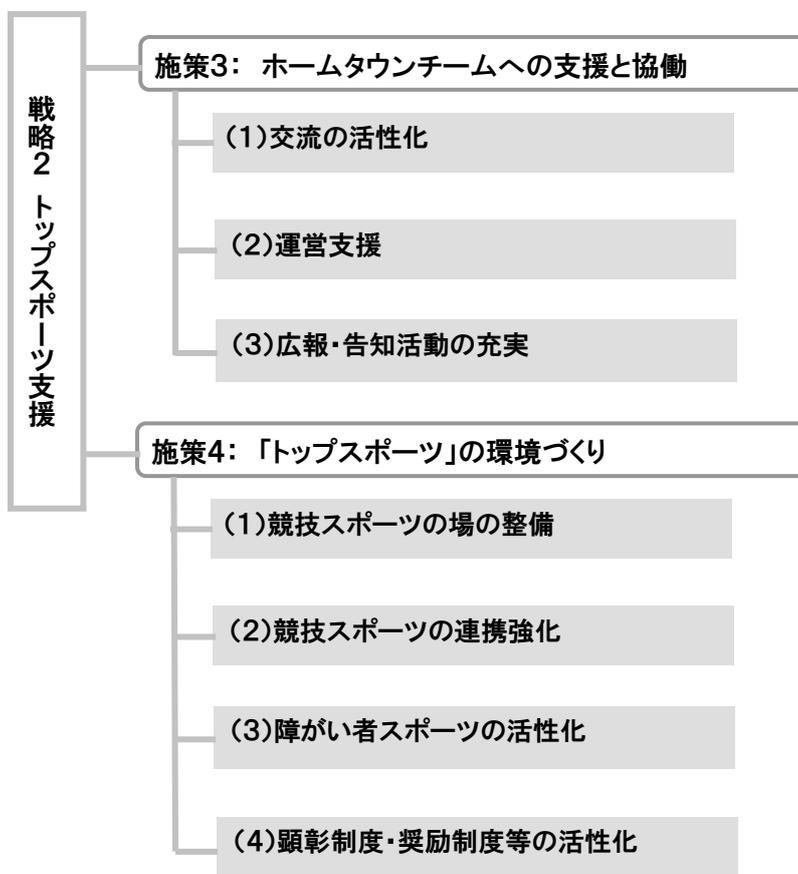
(3) 既存スポーツ施設の有効活用

No	2-20				
推進施策	既存スポーツ施設の有効活用				
事業名	施設案内予約システム運用適正化事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> スポーツ施設を管理する指定管理者が複数に及ぶ状況の中、均一した施設案内予約システム運用のサービス水準を保つため、適正化を行う。</p> <p><取り組み内容> 運用規定の再確認、見直し、問題点の洗い出し、情報共有等</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	内部	
	連携先	公園緑地課・各指定管理者	対象者		
事業目標	指標		現状 (2013年度)	40.3%	
	週一回以上スポーツを実施する市民の割合		目標水準 (2018年度)	60.0%	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	事業の検討・計画	事業の実施			

No	2-21				
推進施策	既存スポーツ施設の有効利用				
事業名	利用種目の見直し				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 市のスポーツ施設を専用利用するためには、施設案内予約システムを通して予約することになっている。各室場にはそれぞれ利用可能種目が設定されており、利用可能種目でない種目では利用することができない。近年、設定されている種目以外の種目で利用したいという要望が多数寄せられており、対応を検討する必要がある。</p> <p><取り組み内容> 寄せられた要望を研究し、多くの市民にとって利用しやすい運用を検討する。その中で、新しい種目に対応できるように設備整備を進め、施設案内予約システムの仕様の見直し等を行う。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	各施設	
	連携先	公園緑地課、市民協働推進課、市民総務課	対象者	市民	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	未実施	
	利用種目の見直しの実施		目標水準 (2018年度)	検討	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討	検討	検討	検討	検討

戦略2 トップスポーツ支援

「戦略2 トップスポーツ支援」では、トップスポーツを活性化し、競技スポーツを観る人のスポーツ人口の拡大をはじめ、まちの魅力向上や活性化のために、ホームタウンチームの支援と協働を推進します。また、トップスポーツの環境づくりとして、トップスポーツの場の整備やアスリートと市民の一層の交流の促進を図ります。具体的な事業としては、市内小中学校との連携促進、SNS等を活用した情報発信力の強化、ホームタウンチームと連携した社会貢献活動やイベントへの参加などに取り組みます。



施策3： ホームタウンチームへの支援と協働

(1) 交流の活性化

No	3-1				
推進施策	ホームタウンチームの社会貢献活動やイベントへの参加拡充				
事業名	イベントへの参加拡充				
取り組みの概要	<p><目的・狙い></p> <ul style="list-style-type: none"> ホームタウンチームが市民との交流を持つことは、市民がスポーツに触れ合うきっかけになるとともに、まちづくりの活性化に寄与するものとして、ますます重要になっています。 そのような状況を踏まえ、イベントへのホームタウンチームの参加を促進し、市民と一体となってイベントを作り上げることを目的とします。 <p><取り組み内容></p> <p>町田さくらまつりへのホームタウンチームの参加を促進します。</p>				
	実施主体	町田さくらまつり 実行委員会	取り組みの場	町田さくらまつり	
	連携先	町内会・自治会、 商店会等	対象者	町田さくらまつり参加者	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	-	
	町田さくらまつりへのホームタウンチームの参加拡充		目標水準 (2018年度)	拡充	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	参加拡充				→

No	3-2				
推進施策	ホームタウンチームの社会貢献活動やイベントへの参加拡充				
事業名	ホームタウンチーム支援体制の検討				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> ホームタウンチームと市との協働を、もっと充実し、発展させていく為には、窓口となる専門の役割を定め、計画的戦略的な取り組みにより、ホームタウンチーム支援の拡充を図る。 ※また、40万人規模の自治体で、3つものホームタウンチームを認定している自治体は町田市だけであり、十分な支援への取り組みが出来ていない状況にある。</p> <p><取り組み内容> ホームタウンチーム支援体制を検討</p>				
	実施主体	スポーツ振興課 企画政策課 広報課 総務課行政管理係	取り組みの場	内部	
	連携先		対象者		
事業目標	指標		現状 (2013年度)	90,280人	
	ホームゲームでの年間観戦者数		目標水準 (2018年度)	170,000人	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討				→

No	3-3				
推進施策	ホームタウンチームの社会貢献活動やイベントへの参加拡充				
事業名	ホームタウンチームへの職員派遣研修事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 市とチームとのコミュニケーションを強化し、協働して取り組むまちづくりをより推進するとともに、市内における中小企業の運営を肌で感じる経験を職員が積むことで、より市民目線に立った市政への取り組みを推進する。</p> <p><取り組み内容> 職員派遣研修事業として、ホームタウンチームに出向する。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	内部	
	連携先	職員課、各町田市ホームタウンチーム	対象者		
事業目標	指標		現状 (2013年度)	90,280人	
	ホームゲームでの年間観戦者数		目標水準 (2018年度)	170,000人	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	派遣要綱の検討・設置	派遣の実施	派遣の実施	派遣の実施	派遣の実施

No	3-4				
推進施策	市内小中学校との連携促進				
事業名	町田市内小中学校等と連携したホームタウンチーム応援広報事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 市内の小学生等に、クラブと接点を持つきっかけを作ると共に、クラブカラーで染まった旗が地域に根付くようにする。</p> <p><取り組み内容> 各クラブへの応援メッセージフラッグを市内小学校に記入してもらるかデザインを作成したものをデータ化し、試合が行なわれる会場や町田駅・成瀬駅・鶴川駅等に掲出する。 ※国体・他クラブで実施事例あり</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	小中学校	
	連携先	小中学校	対象者	小中学生	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	90,280人	
	ホームゲームでの年間観戦者数		目標水準 (2018年度)	170,000人	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	事業の検討・計画	事業の実施	事業の実施	事業の実施	事業の実施

No	3-5				
推進施策	市内小中学校との連携促進				
事業名	ホームタウンチーム競技普及啓発事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い></p> <p>ホームタウンチームが活性化するには、その競技が普及し、機運の盛り上がり が不可欠。その環境整備に取り組み、次世代の選手輩出や、その競技に関わる 人数を増やし、活性化を図る。現状は気軽に市民が、サッカー・ラグビー・フ ットサルが取り組める状況にない。</p> <p>※国体の競技普及啓発事業も同様に大会開催へ向けて一般市民への競技普及 啓発活動を行った。</p> <p><取り組み内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設利用種目の見直し(フットサル・ラグビー等の設定) また、それに伴い、施設設備の整備 ・学校への講師派遣プロジェクト(学校の授業に選手かコーチが出向き、実際に 授業と実技を行い、接点を増やす機会を作る) <p>※プロスポーツが栄えるには、そのスポーツを理解する人の人数増加が不可 欠</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	スポーツ施設・小中学校	
	連携先	町田市関連部署、各指 定管理者、各町田市ホ ームタウンチーム	対象者	市民・小中学生	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	90,280人	
	ホームゲームでの年間観戦者数		目標水準 (2018年度)	170,000人	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	事業の検討・計 画	事業の実施	事業の実施	事業の実施	事業の実施

No	3-6				再掲
推進施策	市内小中学校との連携促進				
事業名	地域スポーツとトップスポーツの好循環推進プロジェクト事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツを普及・定着させ、スポーツを人々にとって身近なものとするためには、トップアスリートなどの優秀な技術や経験を地域スポーツに有効活用し、スポーツの裾野の拡大及び底上げを図ることが重要である。 ・そのため、トップアスリートを活用し、地域のジュニアアスリートを指導するとともに、学校に「小学校体育活動コーディネーター」を派遣することなどを通じて、地域スポーツとトップスポーツの好循環を推進する。 <p><取り組み内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ○トップアスリートによるジュニアアスリート支援等の実施 ○地域の課題解決への取り組みの実践 ○小学校体育活動コーディネーターの派遣による支援 				
	実施主体	スポーツ振興課 NPO団体	取り組みの場	地域スポーツクラブを中心とする各地域	
	連携先	東京都 町田市教育委員会	対象者	市民	
	事業目標	指標		現状 (2013年度)	—
	事業の実施		目標水準 (2018年度)	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2014年度	2015年度
	企画・実施				

No	3-7				
推進施策	スポーツイベントの集客増に向けた連携強化				
事業名	町田市ホームタウンチーム協議会設置事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い></p> <p>現状はホームタウンチーム同士の連携が薄く、試合日程が被ったり、チームカラーもばらばらな為、スポーツ振興計画の理念である「人とまちが一つになる」の実現に向けて、歩調がそろっていないとはいえない。そのため、包括的に、ホームタウンチームを支援する為の体制作りを整備し、一体感のあるまちづくりを行なう。</p> <p>※類似事例→横浜熱闘倶楽部・仙台プロスポーツネットワーク</p> <p><取り組み内容></p> <p>ホームタウンチーム協議会を設置。月に一度の定例会を実施し、現状分析を課題解決に努めると共に、独自にSNSや各施設装飾等の広報啓発を行なう。また、より快適な観戦環境の整備や、安全でスムーズな試合運営の行える環境整備も進める。さらに、他地域の事例を研究し、たとえば、愛媛県の「愛媛県プロスポーツ地域振興協議会」のように、ホームタウンチームを応援したり、サポーターを増やすイベントに対して、助成金を支出するような支援事業も行う。さらに、ホームタウンチームを町田におけるスポーツのシンボルとして位置づけ、記念マッチや市民との交流事業を実施するとともに、3つのホームタウンチームおよび各スポーツ団体や各地域団体との連携によるイベントの開催などにも取り組み、町田市の魅力の発信を図る。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	内部	
	連携先	町田市関連部署、各指定管理者、各町田市ホームタウンチーム、各地域団体・関連団体等	対象者	市民・ファン・サポーター	
	事業目標	<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トップアスリートを派遣した学校数/回数 ・体力測定値の上昇/スポーツ実施率 		現状 (2013年度)	90,280人
			目標水準 (2018年度)	170,000人	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	制度設計	協議会設立事業の試行	本格的な協議会活動の実施		→

(2) 運営支援

No	3-8				
推進施策	試合会場・練習会場の優先確保				
事業名	ホームタウンチーム施設利用支援事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> ホームタウンチームの練習会場は、キャノンイーグルス以外、自前の施設を持っておらず、市の施設を頼らざるを得ない状況にあるが、市の施設を利用するに当たっては、一般利用との兼ね合いで十分な利用の確保が難しい。 また、興行向けの使用料も、一般的な興行使用料と同列となっており、クラブに過度の負担をかけているため、経営を圧迫している状態にあり、チームがよりよい戦力補強や、下部組織、スタッフの充実が出来ていない。</p> <p><取り組み内容> 利用時間枠の見直しなどを行うことにより、利用枠を拡大し、一般利用・ホームタウンチーム利用ともにバランスの取れた利用ができるよう調整を図る。 一般利用・興行利用の境目だけでなく、地域活性化のシンボルとして位置づけているホームタウンチームに対して、補助金を支出する。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	内部	
	連携先	公園緑地課	対象者	市民・ホームタウンチーム	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	90,280人	
	ホームゲームでの年間観戦者数		目標水準 (2018年度)	170,000人	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	要綱検討・制定	実施			

No	3-9					再掲
推進施策	サポーターの拡大					
事業名	町田市ホームタウンチーム協議会設置事業					
取り組みの概要	<p><目的・狙い></p> <p>現状はホームタウンチーム同士の連携が薄く、試合日程が被ったり、チームカラーもばらばらな為、スポーツ振興計画の理念である「人とまちが一つになる」の実現に向けて、歩調がそろっているとはいえない。そのため、包括的に、ホームタウンチームを支援する為の体制作りを整備し、一体感のあるまちづくりを行なう。</p> <p>※類似事例→横浜熱闘倶楽部・仙台プロスポーツネットワーク</p> <p><取り組み内容></p> <p>ホームタウンチーム協議会を設置。月に一度の定例会を実施し、現状分析を課題解決に努めると共に、独自に SNS や各施設装飾等の広報啓発を行なう。また、より快適な観戦環境の整備や、安全でスムーズな試合運営の行える環境整備も進める。さらに、他地域の事例を研究し、たとえば、愛媛県の「愛媛県プロスポーツ地域振興協議会」のように、ホームタウンチームを応援したり、サポーターを増やすイベントに対して、助成金を支出するような支援事業も行う。さらに、ホームタウンチームを町田におけるスポーツのシンボルとして位置づけ、記念マッチや市民との交流事業を実施するとともに、3つのホームタウンチームおよび各スポーツ団体や各地域団体との連携によるイベントの開催などにも取り組み、町田市の魅力の発信を図る。</p>					
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	内部		
	連携先	町田市関連部署、各指定管理者、各町田市ホームタウンチーム、各地域団体・関連団体等	対象者	市民・ファン・サポーター		
事業目標	指標		現状 (2013年度)	90,280人		
	ホームゲームでの年間観戦者数		目標水準 (2018年度)	170,000人		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	制度設計	協議会設立事業の試行	本格的な協議会活動の実施	→		

(3) 広報・告知活動の充実

No	3-10	再掲			
推進施策	【重点施策】スポーツを通じたシティセールスの推進				
事業名	町田市ホームタウンチーム協議会設置事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い></p> <p>現状はホームタウンチーム同士の連携が薄く、試合日程が被ったり、チームカラーもばらばらな為、スポーツ振興計画の理念である「人とまちが一つになる」の実現に向けて、歩調がそろっているとはいえない。そのため、包括的に、ホームタウンチームを支援する為の体制作りを整備し、一体感のあるまちづくりを行なう。</p> <p>※類似事例→横浜熱闘倶楽部・仙台プロスポーツネットワーク</p> <p><取り組み内容></p> <p>ホームタウンチーム協議会を設置。月に一度の定例会を実施し、現状分析を課題解決に努めると共に、独自に SNS や各施設装飾等の広報啓発を行なう。また、より快適な観戦環境の整備や、安全でスムーズな試合運営の行える環境整備も進める。さらに、他地域の事例を研究し、たとえば、愛媛県の「愛媛県プロスポーツ地域振興協議会」のように、ホームタウンチームを応援したり、サポーターを増やすイベントに対して、助成金を支出するような支援事業も行う。さらに、ホームタウンチームを町田におけるスポーツのシンボルとして位置づけ、記念マッチや市民との交流事業を実施するとともに、3つのホームタウンチームおよび各スポーツ団体や各地域団体との連携によるイベントの開催などにも取り組み、町田市の魅力の発信を図る。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	内部	
	連携先	町田市関連部署、各指定管理者、各町田市ホームタウンチーム、各地域団体・関連団体等	対象者	市民・ファン・サポーター	
	事業目標	指標		現状 (2013年度)	90,280人
	ホームゲームでの年間観戦者数		目標水準 (2018年度)	170,000人	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	制度設計	協議会設立事業の試行	本格的な協議会活動の実施		

施策4： 「トップスポーツ」の環境づくり

(1) 競技スポーツの場の整備

No	4-1				
推進施策	オリンピックキャンプ地招致				
事業名	2019年ラグビーワールドカップ及び 2020年東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地招致事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い></p> <p>○青少年をはじめとする市民の方々に、トップレベルのスポーツと触れ合う機会を提供し、スポーツを「する」「みる」「支える」環境を向上させる。</p> <p>○「おもてなし」の心で外国から来訪する選手やスタッフを迎えることで、市民のボランティア意識を高める。</p> <p>○合宿を通じて、町田市を全国、世界に対してアピールし、来街者を増加させる。</p> <p><取り組み内容></p> <p>○参加国、東京都、日本ラグビー協会、JOCをはじめとする関係各所への招致活動</p> <p>○事前合宿のための競技施設の重点的な整備</p> <p>○市を挙げて「スポーツのまち・町田」をアピールする気運の醸成</p>				
	実施主体	スポーツ振興課 (仮称) 町田市対策本部		取り組みの場	市内全域
	連携先	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都 ・都市づくり部公園緑地課 ・経済観光部産業観光課 ・政策経営部広報課 ・政策経営部企画政策課 		対象者	市民 日本ラグビー協会 JOC
事業目標	指標			現状 (2013年度)	—
	キャンプの招致 競技施設の整備			目標水準 (2018年度)	招致
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	招致活動 施設整備	招致活動 施設整備	招致活動 施設整備	招致活動 施設整備	招致活動 施設整備

No	4-2				
推進施策	スポーツ施設の有効活用策の検討				
事業名	競技スポーツの場の整備				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 競技スポーツの大会が開催できるように施設整備を行う。</p> <p><取り組み内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合体育館の得点表示板の更新を行い、競技スポーツに活用する。 ・総合体育館に大型バス乗降場を整備する。 ・室内プール（50mプール）のコースロープを一新し、公認を受け、電光表示システムを更新し、大会利用に適したプールの環境整備を行う。 ・公園緑地課と調整し、陸上競技場、小野路球場の競技スポーツの場としての整備についても引き続き行う。 				
	実施主体	スポーツ振興課		取り組みの場	総合体育館 室内プール 陸上競技場 小野路球場
	連携先	公園緑地課 営繕課		対象者	
事業目標	指標			現状 (2013年度)	不十分
	競技スポーツの場の整備状況			目標水準 (2018年度)	整備完了
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	総合体育館得点表示板更新 室内プール50mコースロープ購入・公認手続き	総合体育館大型バス乗降場整備の検討 室内プール電光表示システム更新	総合体育館大型バス乗降場整備設計	総合体育館大型バス乗降場整備工事	総合体育館大型バス乗降場整備工事

No	4-3				
推進施策	スポーツ施設の有効活用策の検討				
事業名	バドミントン日本リーグ大会誘致事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> ○青少年をはじめとする市民の方々に、トップレベルのスポーツと触れ合う機会を提供し、スポーツを「する」「みる」「支える」環境を向上させる。</p> <p><取り組み内容> ○2016年のバドミントン日本リーグ大会の最終日を総合体育館で開催してもらえるように日本バドミントン協会に対して誘致活動を行う。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課		取り組みの場	総合体育館
	連携先	町田市体育協会		対象者	日本バドミントン協会
事業目標	指標			現状 (2013年度)	-
	大会開催			目標水準 (2018年度)	大会開催 (2016年度)
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	誘致活動	誘致活動	大会開催	-	-

(2) 競技スポーツの連携強化

No	4-4				
推進施策	スポーツ団体との情報の共有化				
事業名	体育協会等との情報共有の強化				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 体育協会及び各競技団体との情報共有化を図り、施設の管理運営や、市民大会開催に活かす。</p> <p><取り組み内容> ・各施設指定管理者及び体育協会と連携し、次年度の施設利用優先受付業務を行う。 ・体育協会との打合せを定期的に行い、加盟団体からの要望・意見を収集する。加盟団体からの要望は、公園緑地課や指定管理者と協議の上で対応を決定する。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課 町田市体育協会 指定管理者	取り組みの場	市内体育施設	
	連携先	町田市体育協会 公園緑地課 指定管理者	対象者	体育協会 (各競技団体)	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	実施	
	体育協会との業務連携		目標水準 (2018年度)	強化	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	優先受付取扱基準の見直しの検討 各団体からの要望への対応検討・実施	施設利用優先受付業務の実施・改善			→

No	4-5				
推進施策	競技スポーツの連携強化				
事業名	スポーツボランティア活性化事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、スポーツを「支える」という概念をより広く周知し、スポーツと密接に関わる市民の数を増加させる。</p> <p><取り組み内容> スポーツ祭東京2013のレガシーである「まちだサポーターズ」を中心に「まちだスポーツボランティアネット(仮)」を組織・運営し、研修や市内外のスポーツイベントへの参加を通じて行政とともにスポーツを「支える」意識を高める。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課		取り組みの場	各種市内外スポーツイベント
	連携先	<ul style="list-style-type: none"> ・町田市町内会自治会連合会 ・市内各大学 ・市内各高等学校 ・市内各小中学校 ・各ホームタウンチーム ・町田市教育委員会 ・市民部市民協働推進課 		対象者	市民
事業目標	指標			現状 (2013年度)	0人
	「まちだスポーツボランティアネット(仮)」 延べ活動人数			目標水準 (2018年度)	400人
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	200人	200人	300人	400人	400人

No	4-6					再掲
推進施策	[再掲] 大学との協定の締結					
事業名	スポーツに関わる人材育成連携事業					
取り組みの概要	<p><目的・狙い></p> <p>○スポーツ行政に対する大学生の知見を広めることで、次代のスポーツ行政を担う人材を育成する。</p> <p>○市の主催イベント等に大学生を積極的に活用することで、町田市全体としての活気を創出する。</p> <p><取り組み内容></p> <p>大学のゼミや講義と連携した、下記各種取り組み。</p> <p>○地域スポーツクラブ等で開催されるスポーツ教室において、指導を通じた地域貢献</p> <p>○市内外スポーツイベントへボランティアとして積極的に参加できるシステムの構築</p> <p>○市の各種媒体から発信する情報について、学生を活用して積極的に収集</p>					
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	市内各大学 市内外各種スポーツイベント 地域スポーツクラブ		
	連携先	<ul style="list-style-type: none"> ・市内各大学 ・地域スポーツクラブ ・政策経営部広報課 ・経済観光部産業観光課 	対象者	大学生		
	事業目標	指標		現状 (2013年度)	0	
	市の事業と連携する大学のゼミ数		目標水準 (2018年度)	3		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	制度設計・調整	制度設計・調整	1	2	3	

(3) 障がい者スポーツの活性化

No	4-7				
推進施策	障がい者の競技スポーツ大会への場の提供				
事業名	障がい者の競技スポーツ大会誘致				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 障がい者アスリートが市内で競技スポーツに取り組みやすい環境をつくる。</p> <p><取り組み内容> (現在) 関東身体障害者陸上競技協会と協定を結び、毎年関東身体障害者陸上競技選手権大会を実施している。 (今後) 障がい者の競技スポーツ大会を積極的に誘致し、継続的な開催を目指す。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	市内体育施設	
	連携先		対象者	障がい者競技スポーツ団体	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	1大会	
	障がい者の競技スポーツ大会数		目標水準 (2018年度)	2大会	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	1大会	2大会	2大会	2大会	2大会

No	4-8				
推進施策	障がい者の競技スポーツ大会への場の提供				
事業名	障がい者スポーツ体感事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 障がい者スポーツ普及啓発のためには、まず、一般的に触れる機会の少ない障がい者スポーツを体験してもらい、理解のきっかけを作ることが必要である。</p> <p><取り組み内容> 障がい者スポーツの中でも、比較的認知度の高い車椅子バスケの大会を誘致する。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場		
	連携先	障がい福祉課、バスケットボール協会、指定管理者	対象者	市民	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	0	
	大会開催		目標水準 (2018年度)	1	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	視察・検討	プレ大会開催	本大会開催	本大会開催	本大会開催

(4) 顕彰制度・奨励制度等を通じた交流の活性化

No	4-9				
推進施策	【重点施策】 トップアスリートとの交流の活性化				
事業名	トップアスリートと市民のつながり創出事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 市内外で活躍する町田市ゆかりのトップアスリートと市民との、直接・間接の交流機会を増やすことで、トップアスリートたちをさらに広く周知・支援し、青少年を中心とする層にスポーツが持つ夢や希望をより多く実感してもらう。</p> <p><取り組み内容> ○「スポーツアワードまちだ」受賞者を中心とするトップアスリートの、市内スポーツイベントへの積極的な出演促進 ○小学生、働く世代、高齢者等、各世代ごとの「スポーツアワードまちだ」スピノフイベントの開催 ○ホームページ、SNS、紙媒体などのオウンドメディアの積極的活用、新聞、テレビ等のマス媒体を中心としたアードメディアへの積極的なPRによるトップアスリートとの交流機会の周知強化、及び市民の参加促進</p>				
	実施主体	スポーツ振興課 Sports まちだホームタウン協議会		取り組みの場	市内各種スポーツイベント
	連携先	<ul style="list-style-type: none"> ・市内各スポーツ施設 ・経済観光部産業観光課 ・政策経営部広報課 		対象者	トップアスリート 市民
事業目標	指標			現状 (2013年度)	???
	「スポーツアワードまちだ」 市民認知率			目標水準 (2018年度)	60%
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	25%	30%	40%	50%	60%

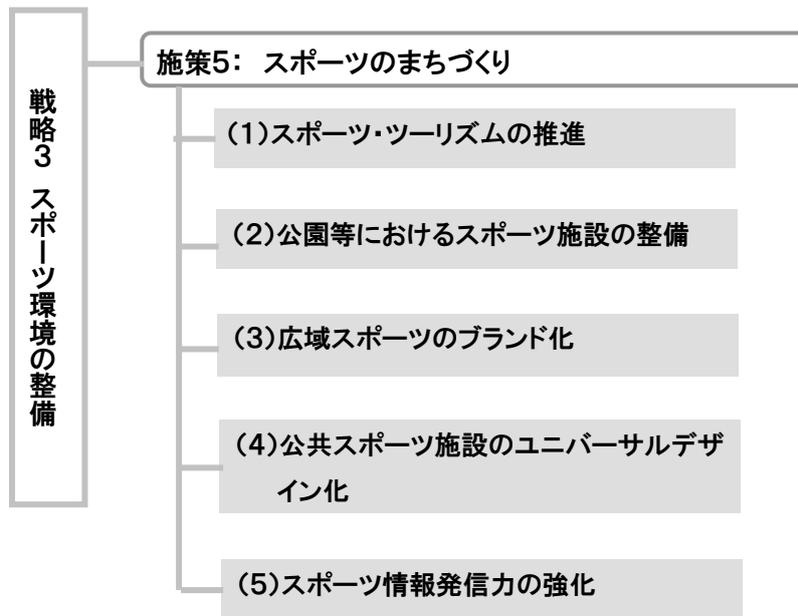
No	4-10				
推進施策	【重点施策】 トップアスリートとの交流の活性化				
事業名	各指定管理者と市内競技団体やホームタウンチームとの共催によるイベント実施				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 指定管理者の自主事業（イベント）は、現在体育施設運営において、多くの参加者を集める重要な事業となっている。そのため、今後、自主事業（イベント）をトップアスリート擁する市内競技団体やホームタウンチームとの共催実施し、市民との交流の場とする。（アスリートはゲスト扱いでなく、主体的にイベントに関わることで、そのイベントをファン獲得の場としてもらう）</p> <p><取り組み内容> 指定管理者に働きかけ、トップアスリート擁する競技団体やホームタウンチームと野共催イベントを実施する。イベントでは、共催団体ごとにアトラクションを用意し、イベント参加者とアスリートが交流する機会としてもらう。（場所代は施設もち、内容・実施は共催団体もち）</p>				
	実施主体	指定管理者	取り組みの場	総合体育館 室内プール	
	連携先	スポーツ振興課 競技団体 ホームタウンチーム	対象者	施設利用者	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	0	
	イベントの開催回数		目標水準 (2018年度)	年2回	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	指定管理者と翌年殿事業の調整	イベント実施 (年2回)			→

No	4-11				
推進施策	顕彰・奨励制度の充実				
事業名	表敬訪問事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> スポーツの全国大会、国際大会に出場予定、または出場した市民の市長表敬訪問の受け入れを行い、激励・顕彰することで、スポーツをする市民の意欲を高めるとともに、そのスポーツを広く市民に普及します。</p> <p><取り組み内容> ○様々なスポーツをする市民が広く表敬訪問を知り、訪問できるよう、今後の受け入れ方法・周知方法を検討します。</p> <p>○出場前であれば、表敬訪問により大会に向けて士気を高めることができ、またその競技や大会の注目度を上げ広く市民から応援を得ることができるような表敬訪問のあり方を検討します。</p> <p>○出場後であれば、功績を称え今後の意欲につながるような表敬訪問のあり方を検討します。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	-	
	連携先	-	対象者	スポーツの全国大会・国際大会に出場予定または出場した個人または団体	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	延べ18件 (実件数14件)	
	検討・実施		目標水準 (2018年度)		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討・実施				→

No	4-12				
推進施策	顕彰・奨励制度の充実				
事業名	全国大会等出場者祝金支給事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> スポーツの全国大会、国際大会に出場した市民に対し祝金を支給することで、スポーツをする市民の意欲を高めるとともに、その活動への支援を行います。</p> <p><取り組み内容> ○祝金支給要綱にもとづき、市民への祝金を支給します。 ○より制度を広く市民に知ってもらうために、更なる周知方法を検討します。 ○スポーツの多様化にともない、様々なスポーツの大会に出場する市民に広く支給できるよう、支給要綱の見直しをします。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	-	
	連携先	-	対象者	スポーツの全国大会・国際大会に出場した個人または団体	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	個人〔全国〕25人 個人(国際)10人 団体(全国)4団体 団体(国際)0団体	
	検討・実施			目標水準 (2018年度)	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討・実施				→

戦略3 スポーツ環境の整備

「戦略3 スポーツ環境の整備」では、「だれもが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツをしたり、みたり、親しむことのできる環境」を創出するとともに、スポーツを通じたまちの活性化・交流の拡大を図ります。



施策5： スポーツのまちづくり

(1) スポーツ・ツーリズムの推進

No	5-1				
推進施策	スポーツ・ツーリズムの連携促進				
事業名	スポーツ・ツーリズム実施事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 魅力あるスポーツ資源 活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内への来訪者を獲得するためには、魅力ある見所、イベントなどのコンテンツがますます重要になっており、スポーツ資源もその一つとなっています。このような状況をふまえ、本事業はスポーツ観戦など含めたツアーを実施または支援することを目的とします。 <p><取り組み内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ホームタウンチーム応援ツアーの企画 旅行代理店へのPR 				
	実施主体	一般社団法人町田市観光コンベンション協会		取り組みの場	市外スタジアム 市外旅行代理店
	連携先	旅行代理店など		対象者	観戦者
	事業目標	指標			現状 (2013年度)
ツアー実施			目標水準 (2018年度)	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	企画・実施				→

(2) 公園等におけるスポーツ施設の整備

No	5-2				
推進施策	【重点施策】野津田公園におけるスポーツ施設整備				
事業名					
取り組みの概要	調整中につき後日掲載				
	実施主体			取り組みの場	
	連携先			対象者	
	事業目標	指標		現状 (2013年度)	
			目標水準 (2018年度)		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度

(3) 広域スポーツのブランド化

No	5-3				
推進施策	市民マラソン等の活性化				
事業名	武相マラソン大会				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 現行の町田市スポーツ振興計画の施策の一つとして、「広域スポーツのブランド化」を掲げ、武相マラソン大会を町田ブランドと位置づけ、市の知名度向上ならびに参加者の拡大を図り、もって市のスポーツ振興及び地域の活性化に寄与すること。</p> <p><取り組み内容> 参加者の拡大は主催者によるが、大会を支援する市では広報・HPを通じて情報発信を推進する。</p>				
	実施主体	町田タイムズ社		取り組みの場	
	連携先	町田市陸上競技協会 スポーツ振興課		対象者	
事業目標	指標			現状 (2013年度)	2,000人
	参加者数			目標水準 (2018年度)	5,000人
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	4,000人	4,000人	4,500人	4,500人	5,000人

(4) 公共スポーツ施設のユニバーサルデザイン化

No	5-4				
推進施策	ユニバーサルデザインの推進				
事業名	新設体育施設のユニバーサルデザイン採用				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 誰でも利用しやすいスポーツ施設を整備する。</p> <p><取り組み内容> 今後、体育施設を新設する場合は、福祉のまちづくり条例に基づいたユニバーサルデザインを採用し、実施する。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	新設スポーツ施設	
	連携先	営繕課 公園緑地課 福祉総務課	対象者	施設利用者	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	実施	
	ユニバーサルデザイン採用		目標水準 (2018年度)	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2014年度	2015年度
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 体育施設を新設する機会には必ず実施 </div>				

No	5-5				
推進施策	ユニバーサルデザインの推進				
事業名	既存体育施設のバリアフリー改修				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 各体育施設は、建設後 20 年以上経過し、建設当時の建物・設備の規格等が現在の考え方にそぐわないものになってきているため、福祉のまちづくり条例にもとづいたバリアフリー改修を計画的に実施する。</p> <p><取り組み内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・トイレ改修工事 ・サイン改修工事 ・利用者の要望を取り入れた小規模なバリアフリー改修工事 				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	総合体育館 室内プール 成瀬クリーンセンター テニスコート 学校温水プール 木曽中校庭	
	連携先	指定管理者 営繕課 施設課	対象者	体育施設利用者	
	事業目標	指標		現状 (2013 年度)	0施設
トイレ工事・サイン工事実施施設数		目標水準 (2018 年度)	3施設		
実施計画	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
	改修計画の検討 営繕課との調整	学校温水プー ル、木曽中管理 事務所のサイ ン改修実施	営繕課の修繕計画に合わせてトイレ・サイン工事実施 小規模バリア フリー改修		

(5) スポーツ情報発信力の強化

No	5-6				
推進施策	【重点施策】総合的なスポーツ情報の発信力の強化				
事業名	スポーツフォーラム活性化事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い></p> <p>町田市スポーツ推進計画をもとに市が推進する施策・事業について、さまざまなテーマで市民参加型のフォーラムを開催することで、市民の町田市スポーツ施策に対する関心、理解を高め、より積極的にスポーツに関わることが出来る環境を創出する。</p> <p><取り組み内容></p> <p>○市民がより参加しやすい形でのスポーツフォーラムの開催</p> <p>○市民主導型でのスポーツフォーラムの開催</p> <p>○フォーラム内容のフォローアップをホームページで実施</p>				
	実施主体	スポーツ振興課		取り組みの場	市内各施設
	連携先	<ul style="list-style-type: none"> ・市民部市民協働推進課 ・市内各大学 ・ホームタウンチーム 		対象者	市民
事業目標	指標			現状 (2013年度)	1回
	スポーツフォーラム開催回数			目標水準 (2018年度)	4回
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	1回	2回	3回	4回	4回

No	5-7				
推進施策	【重点施策】総合的なスポーツ情報の発信力の強化				
事業名	生涯学習ポータルサイト構築事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 教養、文化・芸術、スポーツ、レクリエーションなどの生涯学習情報を、市民がいつでも手軽に手に入れられる環境を整備します。</p> <p><取り組み内容> 講座・講演会情報、活動団体情報、人材情報などの様々な学習情報を手軽に入手できるホームページ（生涯学習ポータルサイト）を構築します。</p>				
	実施主体	生涯学習センター		取り組みの場	インターネット
	連携先	庁内各課、市民団体、大学等		対象者	市民
	事業目標	指標		現状 (2013年度)	未実施
	生涯学習ポータルサイトの構築		目標水準 (2018年度)	構築・稼動 (2015年度)	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	運用ルールの検討	ポータルサイトの構築・稼動	運用	検証	運用改善実施

No	5-8				
推進施策	【重点施策】総合的なスポーツ情報の発信力の強化				
事業名	生涯学習NAV I				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 市民が教養、文化・芸術、スポーツ、レクリエーションなどの生涯学習に魅力を感じ、一人ひとりの興味や関心に合った学習機会を見つけられるようにします。</p> <p><取り組み内容> 市内もしくは近隣地域で開催され、市民が参加できる講座・講演会、イベントなどの情報や、市内各地で行われている学習活動の様子などを紹介する情報誌「生涯学習NAV I」を発行します。</p>				
	実施主体	生涯学習センター		取り組みの場	情報誌
	連携先	庁内各課 大学等		対象者	市民
事業目標	指標			現状 (2013年度)	65施設
	生涯学習NAV Iの配布施設数			目標水準 (2018年度)	70施設
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	65施設			→	70施設

No	5-9				
推進施策	【重点施策】総合的なスポーツ情報の発信力の強化				
事業名	スポまち SNS 開設運営事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> SNS を活用し、町田で活躍するホームタウンチーム・アスリートの活動情報やスポーツイベント関連情報などを鮮度を保ったまま、いち早く関心の高い市民に直接お届けすることにより、さらに広く情報が拡散され、町田市のスポーツへの関心を高め、ホームタウンチーム・アスリートへの支援につなげる。</p> <p><取り組み内容> Facebook や twitter などの公式 SNS を開設・運営する。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課		取り組みの場	-
	連携先	広報課、Sports まちだホームタウン協議会、各ホームタウンチーム、市内大学、体育協会等		対象者	市民
事業目標	指標			現状 (2013年度)	-
	検討			目標水準 (2018年度)	検討
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討	→			

No	5-10				
推進施策	【重点施策】総合的なスポーツ情報の発信力の強化				
事業名	スポーツ情報発信・広報支援事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い></p> <p>町田で活躍するホームタウンチーム・アスリートの活動情報を多様な手段で、広く市民に発信することにより、ホームタウンチーム・アスリートへの関心と支援の気持ちを高め、ホームタウンチーム・アスリートへの支援につなげます。</p> <p><取り組み内容></p> <p>○ホームタウンチーム・アスリートの大会・イベント等活動情報を町田市ホームページや広報まちだに掲載します。</p> <p>○「マンスリーゼルビア」(FC 町田ゼルビア広報誌)を市内各施設・小中学校へ配布します。</p> <p>○ホームタウンチームのPRポスターを所管掲示板(ペDESTリアンデッキ)・市内各施設・小中学校へ配布・掲示します。</p> <p>○ホームタウンチーム・アスリートの試合、活動情報を、市政情報モニター「まちビジョン」やシティセールス(CS)コーナーにおけるスポーツ情報掲示板へ掲載します。</p> <p>○情報誌「スポまち キッズ!」をSports まちだホームタウン協議会と協働し、作成・発行をします。</p> <p>○総合体育館情報コーナーの有効活用、他スポーツ施設への情報コーナー整備</p>				
	実施主体	スポーツ振興課		取り組みの場	-
	連携先	政策経営部広報課 Sports まちだホームタウン協議会 ホームタウンチーム 公園緑地課		対象者	市民
	事業目標	指標		現状 (2013年度)	
検討・実施		目標水準 (2018年度)	検討・実施		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討・実施				→

